



今回は展示の対象である『すゞり沢』という作品を作った黒露という人についてお話ししようと思います。

素堂そどうという人はご存じでしょうか。この人は甲斐出身の俳人です。二十歳の頃江戸へ出て儒学を学び、後に京で和歌や書道などに親しみました。また、かの有名な俳人・松尾芭蕉の親友でもあります。この人が黒露に俳句やその他様々な文化的教養の手ほどきをしました。やがて、黒露は素堂の力を借りて浅草の

■黒露の住居「稲中庵」があった旧甲府緑町(現甲府市若松町)

黒露が晩年に自らの旅を元にして作った『すゞり沢』という作品。それは彼の結んだ「友情」と万葉・平安く芭蕉・素堂までの文学が溶け合った世界です。ぜひ、展示へと足を運び、その魅力を感じてみてください。

人生は謎と秘密に彩られています。何はともあれ、黒露三十歳の年に後ろ盾である素堂が没すると彼の人生は徐々に暗転します。養子に行った先の財を文人趣味的生活と博打の末に食い潰し江戸を追われてしまつたのです。

その後に諸国を流浪し、甲斐と駿河で地元俳人達の信望を集め一派を形成。駿河に「雁山」を葬り、「黒露」として江戸の俳壇へカムバックを果たします。また、彼は常に江戸俳壇をリードする俳人達と親交を結んでいました。それは彼が高い学識や宗匠レベルの茶の腕前、音楽の嗜みなど人間関係を円滑にするありとあらゆる手段を身に付けた文人だったからでしょう。

# MUSEUM

## ミュージアム都留 & 増田誠美術館

開館時間 9時～17時  
 ※増田誠美術館は 16時30分まで  
 観覧料 一般 300円(210円)  
 一高・大学生 200円(140円)  
 小・中学生 100円(70円)  
 ※( )内は、20名以上の団体料金です。  
 休館日 月曜日、第3火曜日  
 祝日の翌日  
 ミュージアム都留  
 問合先 ☎(45)8008

裕福な米屋に婿入りし、雁山という俳号で俳壇へデビューします。ここまですみと黒露は順風満帆の人生を送つたかのようです。しかし、実際にはよく判りません。というのも、素堂の系譜を引く俳人達の間で黒露の活動が受け入れられず、彼の一派は後に歴史上から抹殺されてしまつたからです。その為、彼の出生や

ミュージアム都留企画展

### 「甲州俳諧展 ～おくのほそ道を辿った甲斐俳人～」

2月13日(日)まで

Report

### 勝山城の調査を終えて

— 石材調査編 —

今回は、勝山城で実施した石材調査について報告したいと思います。石材調査は、各調査区で確認された石材がどのような種類のものかを調べること、遺構の特徴をつかむことができます。この調査の結果、勝山城で用いられている石材は、大まかに花崗岩・安山岩・凝灰岩・玄武岩に分類されることが分かりました。

この内、花崗岩・安山岩の2種は勝山城の基盤をなす石材で、調査は容易なのですが、凝灰岩・玄武岩はこの山内には存在せず、付近から調達したものと考えられます。そしてこの2種の石材は、桂川岸壁に堆積する古富士泥流中に多量に含まれており、ここから調達したと推測されます。

石材の利用度合いからは、花崗岩を主体に用いた遺構と、4種類の石材を均等に用いた遺構の二種類に大きく分類されます。花崗岩・安山岩は城の造成の過程で得たもの、あるいはある地点から切り出したものと推測されますが、硬質なものについては限りがあると考えられ、後年、城郭の拡張、補修などにあたつて二次的に石材が必要となつた際に凝灰岩・玄武岩を用いたのではないかと考えられます。



■調査の様子

## 増田誠美術館

### 増田誠美術館企画展「季節の情景 一秋から冬へ」

フランス各地の風景を描いた作品から、秋から冬にかけての季節をテーマにした油彩画・スケッチを展示しています。ぜひ、ご覧ください。

会期：2月27日(日)まで  
 開館時間：9時～16時30分  
 会場：増田誠美術館(ふるさと会館2階)



作品介绍

作品介绍『雪の降るパリ下町』(年代不詳) 油彩画8号